

「クリスマス」が近づいてきました…

世界各地でお祝いされている「クリスマス」ですが、本当はどのような日なのでしょう？

△「サンタクロース」の正体は？
今からずっと昔、ヨーロッパの東(今のトルコ)に生まれ育ったニコラスという司祭が多くの人々の尊敬を受け、特に子供たちに贈り物をするので大変慕われました。そんなニコラスさんが亡くなった12月6日を「セント・ニコラス」(聖ニコラス)の日」として何度も呼ぶうちに「サンタクロース」に変わっていきました。

△「クリスマス」と呼ばれるようになったのは？
やがてキリスト誕生の物語の方が大切にされ、古い暦で「光が生まれる日」と言われていた12月25日が「キリストのミサ」という意味の「クリスマス」と呼ばれるようになりました。(北ヨーロッパでは冬至になると「光の生まれる日」としてお祝いするところも。)

△「ツリー」に飾りをするのはなぜ？
冬でも常緑の木々は神や精霊が宿っている信じられ、人間や動物をいけにえにして、神の宿る木にぶらさげていました。りんごや人形をさげるのはそれらのなごりと言われています。
(参考図書:「クリスマス・クリスマス」)
クリスマスは世界各地のお祝いや風習などがキリスト教と結びついて今のよう形になったようです。

—スノーシューハイキング—

「新雪の網張スノーシュー体験」



2019年12月21日(土)
主催 網張ビジターセンター運営協議会
協力 岩手山地区パークボランティア
環境省盛岡管理官事務所

【メモ】

【参加者総数】	24名
一般参加者	13名 (うち子供2名)
VC職員	2名
パークボランティア	9名

【概況】

(文責:阿部)

- ・ 好天に恵まれたが、例年になく積雪量が少なく、雪面に笹などが多く出ていた。
- ・ しかし、積雪量が少なかったために露出していたキノコなども観察出来て、いつもと違った風景が見られたとの感想も聞かれた。
- ・ 今回は子供が2人(5歳と7歳)だけで少々寂しかったが、サンタさんに扮したPVの熱演やVCからのプレゼントなどで喜んで貰えたと思う。

〈今回の支援出動PV〉9名(敬称略)

家子、浪岡、松本、佐々木(満)
福山、畠山、佐々木(義)、吉田阿部

〈撮影協力〉浪岡、福山

VC 製作パンフレットの一部分



1班

(撮影:浪岡)



2班 ウサギの足跡を観察。どっちに進んだのかな？



網張野営場にて全員集合！ 背景は鎌倉森



行事開始前の関係者ミーティング (撮影：浪岡)



スノーシューの調整、スノーシューを装着してみる



開会セレモニー (撮影：浪岡)



コースや注意点等の説明



神社前でスノーシューの装着



ワカンの装着は難しい？



準備体操 (2班)



同左 (1班) (撮影：浪岡)



出発！



野兔の生態について説明を聞く



ウサギの糞を見る



雪上に兔の糞を見つけた！ (撮影：浪岡)



雪上歩行に慣れない子供と「汽車ごっこ」？
(撮影：福山)



素肌のブナを観察

(撮影：浪岡)



温泉ガス（硫化水素ガス）の影響で
地衣類が付けないため素肌が見えるブナ
(撮影：浪岡)



通称「マザーツリー」も上部が折損、年々小さくなる

(撮影：福山)



マザーツリー前で休憩
(撮影：浪岡)



ツルアジサイのドライフラワー
(撮影：浪岡)



笹を避けながら進む

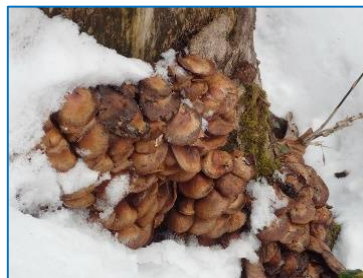


ミズナラの大木に
「何だ？コレ」

(撮影：浪岡)



「オシャクジデンダ」(冬緑性シダ)
(撮影：浪岡)



キノコ見つけた！ (撮影：浪岡)
「ユキノシタ」(食用)
別名：「エノキタケ」(野生種)





本日のコース終点：網張野営場が見えた

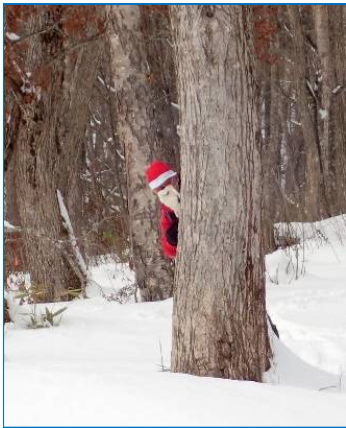


網張野営場に到着、「お疲れ様でした」

(撮影：浪岡)

〈サンタさんの登場〉

林の中から突然の登場に子供たちはビックリ！&歓声
心憎い演出に感心。「役者だねえー」



(撮影：浪岡)



(撮影：浪岡)



サンタさんからの
クリスマスプレゼント
(VC職員の手作り)



(撮影：浪岡)



本物のサンタさんそっくりだねえー



この日一番の笑顔



今日、初めて会った二人
力を合わせて雪遊び



終了後の関係者ミーティング